

ヴォーカル・アンサンブル カペラ 2023 定期公演②

シリーズ 知られざる傑作②



カロンの ロム・アルメ

～グレゴリオ聖歌とルネサンス・ポリフォニーによるミサ形式の演奏会

6.26 月 19 時 15 分開演

(18時30分開場)

カトリック関口教会
東京カテドラル聖マリア大聖堂

演奏 ヴォーカル・アンサンブル カペラ vocal ensemble Cappella

Superius: 錦木 綾 佐藤 裕希恵

Contratenor / tenor: 櫻井 元希 富本 泰成 柳嶋 耕太 渡辺 研一郎

Bassus: 谷本 喜基 松井 永太郎

Maestro di Cappella (音楽監督): 花井 哲郎

※ 開演 20 分前より 音楽監督の花井哲郎による説明があります

"Firminus Caron :
Missa L'homme armé"
Medieval and
Renaissance music concert
in St.Mary's Cathedral Tokyo



vocal ensemble Cappella
Tetsuro Hanajiri

グレゴリオ聖歌 洗者聖ヨハネ誕生の祝日 ミサ固有唱
Gregorian chant,
Proprium missae in Nativitate Sancti Joannis Baptistae

フィルミヌス・カロン ミサ《武装した人 (ロム・アルメ)》
Firminus Caron (1460-75 頃活躍), Missa L'homme armé

ジャン・ド・ラ・ファージュ 「エリザベトはザカリアに」
Jean de la Fage (1518-30 頃活躍), "Elizabeth Zachariae"

ジョスカン・デ・プレ? 「女から生まれたものの中で」
Josquin des Prez?, "Inter natos mulierum"

● 会場チケット料金【全席自由】 ※会員優先席あり

前売 一般席 4,600 円 前売 ベア席 8,500 円

学生席 2,500 円 当日 5,100 円 (すべて税込)

※ 学生券を購入された方は入場時に学生証をご提示ください
※ 前売ベア券は二人同時にご入場ください

 **イープラス** <https://eplus.jp/>

東京古典楽器センター 03-3952-5515
サンパウロ (「四谷」駅前) 03-3357-8642



イープラス

● 配信チケット料金【当日～7月3日(月)まで】

配信チケット 2,500 円 応援チケット 5,000 円 (すべて税込)

※ いずれもシステム手数料 220 円 (税込) が別途かかります

WOOMO (ウーモ) <https://www.woomo.jp/>

チケット・お問い合わせ事務局 **フォンス・フローリス**

070-4123-0871 (平日 10 時 - 17 時)

contact@fonsfloris.com

主催 株式会社フォンス・フローリス



カペラ公式サイト

カペラ公式 web サイト cappellajp.com

スタイリッシュ!これぞ15世紀フランドル!未知の名作に出会ってみませんか。

この作品との出会いは20年前。いよいよ実現です。巧妙に入り組んだ美しい旋律に、お洒落な仕掛けがたっぷり。洗練された宮廷人たちを唸らせたことでしょう。(音楽監督 花井哲郎)



この演奏会では6月24日に祝われる洗礼の聖ヨハネ誕生の祝日のミサとして、その日のグレゴリオ聖歌と関連するモテットと共に典礼の形式で演奏します。ジャン・ド・ラ・ファージュ「エリザベトはザカリアに」も知られざる作曲家のすがすがしい佳作、ジョスカン・デ・プレ「女から生まれたものの中で」は、ジョスカンの名が記されている写本があるものの、様式的にこの大作家の作品ではないと判断されたという理由から演奏されることがない曲ですが、教会の暦の中でも特に重要な聖ヨハネ誕生の日にあふさわしい、晴れやかな6声部からなる作品です。ルネサンスの隠れた名曲を求め旅に、一緒に出かけましょう!

15世紀の音楽家に関する記録は決して多くはありませんが、特にカロンという作曲家の生涯については、ほとんど何も分かっていません。名前さえ「フィルミヌス」かもしれないという程度ですが、カロン作として伝えられている5曲のミサ曲、十数曲の世俗歌曲はどれも手の込んだ、洗練の極みのような優れた作品ばかりです。当時の理論家ティンクトリスがその著作の中でオケゲムなどと共に「私が聴いたなかで最も優れた作曲家」の1人としてその名を挙げています。歌曲ロム・アルメに基づくミサ曲はルネサンスを通して多くの作品が生まれ、一つの伝統となりました。カロンの作品もその中で名の知られた他の作曲家のミサ《ロム・アルメ》に劣らぬ傑作です。



演奏 ヴォーカル・アンサンブル カペラ vocal ensemble CAPPELLA

1997年古楽演奏家 花井哲郎が、古楽に取り組む声楽家たちと共に結成。主なレパートリーはグレゴリオ聖歌、及びフランス・フランドルを中心としたルネサンスの多声音楽(ポリフォニー)です。典礼の形式を尊重し、歴史的な「計量記譜」を使用する演奏法にこだわって、アカペラの柔らかく豊かな響きで宗教作品の気高い精神性を歌い上げます。

クラシック音楽専門インターネットラジオOTTAVAのジングルを担当。2015年第27回ミュージック・ペンクラブ「室内楽・合唱音楽部門賞」受賞。最新CDはジョスカンの没後500年を記念するシリーズ8作目「ジョスカン・デ・プレ ミサ曲全集 第8集 カノンのミサ」(レグルス)。ストーリーミング配信、全国のCDショップにて絶賛発売中。

公式サイト cappellajp.com / twitter @cappellajp / facebook @cappella.jp



カトリック関口教会 東京カテドラル聖マリア大聖堂

東京都文京区関口 3-16-15
ホテル椿山荘の前

【地下鉄で】

東京メトロ有楽町線「Y12 江戸川橋駅」1a 出口より
徒歩約15分
※エレベーター出口もあります

【バスで】

JR 山手線「目白駅」より・・・都営バス 白61系統「新宿駅西口行き」
JR 山手線「新宿駅」より・・・都営バス 白61系統「練馬車庫前行き」
→ どちらも「ホテル椿山荘東京前」下車 徒歩1分



ヴォーカル・アンサンブル カペラ 2023 定期公演 次回の予定は

シリーズ ルネサンス音楽の名曲 3 [2023年6月発売予定]

オケゲムのレクイエム ～ 美しき哀悼歌

ヨハネス・オケゲム「死者のためのミサ曲」 Jean de Ockeghem (ca.1410-1497) Missa pro defunctis 他

2023年 10.27 (金) 19時開演 (18時15分開場)
カトリック関口教会 東京カテドラル聖マリア大聖堂
*開演20分前より音楽監督の花井哲郎による解説があります

【新型コロナウイルス感染予防に関するお知らせとお願い】

公演開催に際し東京都やクラシック音楽公演運営推進協議会によるガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染拡大予防策を引き続き実施しますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

・開演中を含めマスクをご着用ください。
・会場内での談話、終演後の出演者とのご面会は、なるべくお控えください。